

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計動向 関連  (中国)	良くなる	コンビニ（エリア担当）	・洋菓子を中心とした新製品の動きが良く、高単価なものが今後も売れる。年末に向けてクリスマスケーキを含め昨年以上の見通しになる。		
		通信会社（営業担当）	・11、12月は冬モデルの新商品が続々発売開始され、冬休み・クリスマス・ボーナスと多くのトピックもあり、携帯電話市場が盛り上がり年間で2番目の需要期となる。		
やや良くなる		百貨店（営業担当）	・冬物OFF企画を拡大することで販売チャンスの拡大が期待できる。		
		家電量販店（販売担当）	・年末商戦に入り、プリンタやテレビなどが動くと思われる。		
		自動車備品販売店（経営者）	・季節商材が動く時期は良いが、その後は不安である。		
		一般レストラン（経営者）	・年末を控え消費意欲が高まる時期に入る。客の動向からは付加価値さえ認めれば多少高くても購買意欲がある。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・昨年は震災の影響か、婚礼の問い合わせが例年より少なかったが、今年は少し回復しており増加傾向である。		
		通信会社（工事担当）	・需要時期になるため。		
		テーマパーク（業務担当）	・冬季大型イベント開催により集客を挽回したい。		
		競艇場（職員）	・12月中旬から始まる賞金王決定戦の場外発売と年末年始のレースで集客と売上が見込める。		
		美容室（経営者）	・ボーナスの時期になり、外出機会が増えることで来店頻度も上がり、商品の売上も活発になるので、景気は良くなる。		
		設計事務所（経営者）	・消費税増税前に建築をしたいという相談はだんだん増えて来ているが、景気の先行きが不安な状況なので予算などの組立にはかなり慎重な状況である。こちらも楽観はしていないが、いくつかは具体化している。		
		変わらない		商店街（代表者）	・悪いなりに現状を維持している様感じる。商店街の通りが現在公共工事中（上下水工事）なので特に人通りが少ない面もある。
				商店街（代表者）	・2店舗を1店舗に合併させても売上に変化はない。
				商店街（代表者）	・年末に向けて季節商材の売上が増加する時期であるが、今年は期待できない。
一般小売店〔靴〕（経営者）	・季節の変化とともに商品の動きは出るが、以前ほど大きな変化はない。				
一般小売店〔酒店〕（経営者）	・年末商戦などで財布のひもが緩むのではないかと期待はしているが、現状から急激に回復するのは難しい。				
一般小売店〔紙類〕（経営者）	・現状のまま推移する。				
百貨店（営業担当）	・これ以上悪くなって欲しくないので変わらないとしたが、良くなる要因が見つからないので、先行き不安である。				
百貨店（営業担当）	・何か新しいことをやらないと厳しい状況であり、必要なものだけを購入する傾向は続く。				
百貨店（販売促進担当）	・歳暮、クリスマス商戦が控えているが、購入決定において価格が重要視され、客単価は下降すると想定される。来客数の拡大がなければ、総額での前年確保は難しく、依然商況は厳しい。				
百貨店（購買担当）	・衣料品関係はクリアランスセール時期になり値下げ商戦が始まる。アパレル関係がクリアランスの時期をずらすかずらさないかで悩んでいるので、その状況や気温によって売上は左右される。				
百貨店（売場担当）	・3か月先といえば冬のバーゲンに加え閉店セール真っ盛りであり、多くの客の来店が期待できる。特殊なケースで景気判断は難しいが、状況的に変化はない。				
百貨店（販売担当）	・大きく景気を左右する要因はないが、年末年始へ向けて帰省客を中心に前年ベースで推移する。				
百貨店（営業推進担当）	・大きな環境与件が、当地ではないので、変化が少ない。				
スーパー（店長）	・景気判断の材料がない。				
スーパー（店長）	・政局が不安定で様々な改革や改善が手遅れになっており状況に変化はない。				
スーパー（店長）	・地元基幹産業の衰退で、地元商圏の人口も減り、消費も落ちている。				
スーパー（店長）	・変化する要因がない。				
スーパー（総務担当）	・景況感が変わっていない。購買の選択肢が決まってきている。				

スーパー（業務開発担当）	・あと1品買って頂けるよういろいろ工夫しているものの、衝動買いの買い方がなくなってきた。これからも必要な物を必要なだけ、できるだけ安く買う傾向が一層強まる。
スーパー（管理担当）	・現状のまま推移し、大きな変動はなく来客数を増加させるのは難しい状況である。
コンビニ（エリア担当）	・来客数の減少は収まるが単価下落の傾向は続く。
コンビニ（副地域ブロック長）	・既存店の来客数に前年比で回復の兆しがみえない。また、競合店出店攻勢も続くと考えられ、既存店への影響が予測される。
衣料品専門店（経営者）	・景気が良くなる要素がない。
家電量販店（店長）	・客の気を引くような商品はなく、現在の経済状況では客の意識が消費に向くことはない。
乗用車販売店（業務担当）	・エコカー補助金に盛り上がり欠けた分、その終了の反動も少ないように感じる。
乗用車販売店（営業担当）	・静かなエコカー補助金商戦だったが、それでも需要の先食いをした事による冷え込みは大きく出ている。
乗用車販売店（店長）	・今の状態が続く。
乗用車販売店（副店長）	・外交問題が経済活動に様々な悪影響を及ぼし、しばらく続く。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・今以上に上昇する要素がない。
その他専門店〔時計〕（経営者）	・景況だけではなく、ニーズの多様化、人口減などが要因で売上が増加するとは思えない。
その他専門店〔海産物〕（経営者）	・先月までは現在よりも将来の方が良くなるだろうと考えていたが、やはり変わらない。
その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	・このまま推移し変化はない。
高級レストラン（スタッフ）	・11月は昨年と同じぐらいで、12月以降は忘年会の予約が順調に入っているがこれ以上伸びはない。
スナック（経営者）	・最近では来客数も減少傾向にあり、客の話も景気が良くない内容ばかりとなっている。
観光型ホテル（支配人）	・領土問題の顕在化以降、外国人旅行客のキャンセルを予想していたが、当社の主要対象国からの外国人旅行客にはその動きはみられない。一方、婚礼を含む、宴会見込みは前年を下回っており苦戦が予想される。
都市型ホテル（総支配人）	・出雲空港の東京発着便が1便増便となる事により若干個人客・ビジネス客の増加が期待できるものの、前年を大きく上回ることは難しい。
都市型ホテル（企画担当）	・先行きは不透明となっている。
旅行代理店（経営者）	・政府の動きをみても、現在の日本の経済関係が良くなるようには思えない。
通信会社（社員）	・客の問い合わせに変化がないが、携帯関連の利用が進み通信サービスの利用形態の変化で今後変動の可能性がある。
通信会社（企画担当）	・さまざまな売価の販売志向で、単なる節約志向だけの状況ではないが、販売量等から上向きというわけではなく、この状況は当面変わらない。
通信会社（営業担当）	・バブル崩壊以降、好況期を知らずに育った世代が主流となり、今のデフレ・不況を当たり前のこととして受け入れている。
通信会社（総務担当）	・新規販売数の増加が見込めない。
テーマパーク（管理担当）	・個人消費が伸びず客の動きも鈍化している。
テーマパーク（広報担当）	・冬のイベントで回復に持っていきたいが、気候に左右される冬季にどれだけ観光客が動くか期待はできない状況である。
その他レジャー施設（アミューズメント）	・年末にかけて映画館からの来客数増は期待できるが、娯楽への出費増が見込めるような情勢になる傾向は見当らない。
美容室（経営者）	・景気が良くなる要因はない。
設計事務所（経営者）	・現在のまましばらくは推移すると思われ、回復傾向はみえない。
設計事務所（経営者）	・政治の低迷・迷走のなか、地方経済は先の見えない状況が続いている。やっと中国との貿易のあり方がわかってきたが、信用ができず身勝手な中国からの撤退、中国以外のアジア諸国へのアプローチがようやく本格的に始まっている。来年に期待したい。
設計事務所（経営者）	・消費税増税による駆け込み需要も期待されたが、今政治が不安定で先行きがみえなくなってきたり、今後は様子見状況となる。

	住宅販売会社（従業員）	・販売量は維持しているものの、単価的にはあまり上がっていない状況にある。
	住宅販売会社（販売担当）	・消費税増税前の駆け込み需要の時期には到達しておらず、しばらくは模様眺めの時期にある。
	住宅販売会社（営業担当）	・季節的に厳しい時期にはなるが、現在の動きから悪くても例年どおりと思われる。
やや悪くなる	商店街（理事）	・先行き不透明で、客の様子からも良くなる材料がなく、客の気持ちは貯蓄に向かう。
	商店街（代表者）	・少子化、オーバーストア、デフレ、ネット販売の影響で小売業の環境は厳しく、政治経済の不安定さもあり、子供服を買うという意欲が湧かない。
	商店街（代表者）	・町全体が沈んでいるようだ。しかし建物の建て替え工事は3件もある。なかなか不可解だが全体としては不景気風が吹いている。
	商店街（代表者）	・中国や世界の経済、また国内の政治状況に応じてもいい傾向にない。特に選挙があるときは、売上確保が一段と厳しくなる。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・全く予想がつかず毎日が不安である。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・客の名刺注文が減少し、積極的な企業活動がされない状況にある。
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	・これから忘年会シーズンに入るが、飲食店は節約志向で低調となる。
	百貨店（売場担当）	・各種保険料の上昇で心理的に生活防衛的な買い方になっており、食品も含めて商品群を問わずに売上がやや悪く、在庫処分のため、年内の値下げ競争に拍車がかかる。
	百貨店（電算担当）	・売上の柱である婦人服、紳士服が苦戦している。食品の北海道などのうまいもの大会は、去年に比べ来店数が減少し、店に活気がない。競合店も多く人口も減少しており、企画をしても盛り上がらない。
	スーパー（店長）	・日本の政局不安定感が蔓延し、先行き不安がある。消費が好転する「目」が見当たらない。
	スーパー（販売担当）	・気候の変わり目で急な冷え込みのため、衣料品を始めとした秋物が消化できない状況となっている。結果としてバーゲン品（処分）に回さざるを得ず、今後、利益の面で苦戦を招くことが予測される。
	スーパー（販売担当）	・年末を迎えるにあたり買物をする機会が増えるが、食料品店しかない当店よりは大型店に行く客が増加する。
	スーパー（営業システム担当）	・今月も客単価が低い状態が続いている。店舗によっては売上が昨年を上回ることもあるが、ライバル店倒産による客の流れによるものとなっている。年末に向けて無駄遣いを控える購買者にどう売り込みをかけるのか、難しい時期に感じる。
	衣料品専門店（経営者）	・景気とは別なところで商品との良い出会いがあれば客は買物をするが、世の中の状況を見ると先行きの不安から購買力は落ちている。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	・経済状況が厳しく、今後も必要品に需要はあるが、それ以外は買い控えの傾向が強くなる。
	家電量販店（店長）	・新しいOSの発売でパソコン及び関連品の盛り上がり期待したが、現状全く盛り上がっていない。年末商戦もこれといった注目商品がないため厳しい年末商戦となる。
	家電量販店（店長）	・消費税増税問題もあり来客数は減少する。
	家電量販店（企画担当）	・これから季節商材が売れるので期待はしたいが、来客数の減少を改善できる見込みがないのでやや悪くなる。
	乗用車販売店（統括）	・9月のエコカー補助金終了による影響が多少あるが、受注状況を見ると市場が冷えている。
	乗用車販売店（店長）	・販売実績及び来客数ともに前年に比べ激減している。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・政治不安や消費税増税導入への不安要素から生活防衛意識がますます高まり、必要なもの以外は買わない傾向が更に強くなる。
	一般レストラン（経営者）	・政治の状況が固まるまでは景気が上向くことはない。
	一般レストラン（エリア担当）	・宴会メニューも値下げしているが、それでも客から良い声が聞こえてこない。
	一般レストラン（外食事業担当）	・ガソリン価格の不安定さ、光熱費や食品の値上がりなどが響き、ボーナス時期でも買い控えて消費が冷え込み、外食は後回しになる。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	・客の動きを見ていると、目的の商品しか購入しない客が増えており、この傾向は日に日に増している。	
観光型ホテル（スタッフ）	・トップシーズンの現在の状況と比べると悪くなる。	

		都市型ホテル（企画担当）	・来客数の減少傾向がまだ継続する。
		タクシー運転手	・年末が近づくと売上は良くなるが、あまり期待できない。
		タクシー運転手	・IT関連企業の閉鎖が決定しており状況が思わしくない。
		通信会社（通信事業担当）	・解約の増加に歯止めが掛からず、しかもその理由が「他社への乗り換え」ではなく、「使わなくなった」「節約のため」などが増加しており、解約理由にも変化がおきている。
		ゴルフ場（営業担当）	・一番気候の良い10、11、12月を過ぎると閑散期に入る。
		美容室（経営者）	・メディアでの不景気情報などで少し客の財布のひもも締まり気味で、年末に向けて今は節約傾向にある。
		その他サービス〔介護サービス〕（介護サービス担当）	・急激に景気が悪くなるとは思えないが、客などの意見などから考えても、少なくとも消費意欲などが拡大する方向には向かっていない。
	悪くなる	スーパー（店長）	・当初は競合店、大型SC、SMの影響が大きいと想定していたが、現状はコンビニとディスカウントの影響が大きくなっている。今後は、さらにコンビニと同じカテゴリーでの客の奪い合いが更に進む。
		スーパー（財務担当）	・競合他社の低価格競争及び販売促進の強化により、1点単価及び客単価がますます下落する。
		コンビニ（エリア担当）	・予想より売上の回復が遅れており、その原因が不明である。
		自動車備品販売店（経営者）	・政治の不安定化、いろいろな要素による不安感、大手メーカーのリストラ、値上げ等の要因が入り乱れ、社会全体が疲弊し、購買意欲を削いでいる。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・明るい材料がなく地方はますます疲弊する。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新車の立ち上がりもあり、様々な機械加工で忙しくなる。
(中国)	やや良くなる	木材木製品製造業（経理担当）	・住宅の年末までの完成入居に向けて、工事を進めている。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・新製品の本格量産により全体量も増加傾向にある。
		建設業（総務担当）	・具体化された物件を受注できれば景気は良くなる。反面、技術者不足、業者不足が懸念される。
		通信業（営業担当）	・政府の景気浮揚に向けた公債発行の検討など動きが少しみえるとともに、政権交代への期待も多少持たれる。
		会計事務所（職員）	・消費税増税の影響で、製造業では大口の物件の見積の話が、わずかではあるものが入って来ている。
		コピーサービス業（管理担当）	・年賀状印刷による取引増を期待している。
	変わらない	化学工業（総務担当）	・経済環境好転の兆しは見えず先行き不透明感が強い。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・ゴミ焼却場向けの注文が確定しており、11月より製造に着手する。このため数か月間はこの生産で全体の生産水準が高まり現行水準が維持できるが、他の引き合いは弱い。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・特段の増減はない。
		一般機械器具製造業（経理財務担当）	・国内販売に回復の兆しがみられない。
		輸送業（総務担当）	・客から良い情報がない。
		通信業（営業企画担当）	・既存の固定通信の客を中心にランニング価格が低下傾向にある。
		金融業（自動車担当）	・新型車の発売を目前に控えて、在庫積み増しの生産増加を計画しているが、販売価格設定がやや高めで大幅な販売増加は難しい。
		金融業（営業担当）	・取引先の経営者の多くが、今後の受注に対し不安を持っている。受注単価の低下等は依然として続いており、業績改善に自信を持っている企業は少なくなっている。景気回復について心理的に前向きになる要素が少なく、当面は現状と大きく変化なく推移する。
		不動産業（総務担当）	・今月同様、来月も来店数・成約件数は、横ばいと予想される。
	やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・大きな投資で設備を作ったが、それを回収できるだけの売上は期待できない。
		繊維工業（統括担当）	・停滞した状況が続く。
		鉄鋼業（総務担当）	・中国での自動車を主とした日本製品不買傾向が長期化する。
		金属製品製造業（総務担当）	・尖閣諸島の問題を受け、工作機械業界の中国向けの案件は受注に至っていない。また造船業界からは仕事の絶対量の落ち込みと中国や韓国との競合のため、価格要請がこれまで以上に厳しくなることは必至である。鉄原材料価格は下落する見込みだが、需要の低迷に起因しているため、良い兆候とは言えない。

		電気機械器具製造業 (総務担当)	・景気の不透明感が強まっている。中国との外交問題に起因し対中国向けの販売がどれだけ落ち込むかにより、かなり下振れしてくることが予想される。更に、国内受注が大きく後退し減少しているのが実態である。
		電気機械器具製造業 (総務担当)	・中国、韓国との問題が解決する見込みがない。
		輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・先々の仕事量に影響のある受注量や販売量の減少が考えられる。
		建設業 (経営者)	・百貨店が撤退するという発表があり、この地域の景気に衝撃を与える。厳しい状況が更に厳しくなる。
		輸送業 (業務担当)	・国内販売が鈍化しているうえに、輸出先の中国との間で尖閣諸島問題の影響が現れ、輸出も鈍化しているが、早急な回復は望めない。
		広告代理店 (営業担当)	・客からの情報によると、年末に向けてはやや悪い状況が継続する傾向があり、年末年始からはピンポイントで上昇に転じる傾向であるが、現況はやや悪い状況が継続する。
	悪くなる	農林水産業 (従業者)	・水温が低くなり好天続きで海は穏やかであるが、魚が捕れず、原因が分からないため対応に苦慮している。
		食料品製造業 (総務担当)	・為替、原油、穀物等の価格の不安定など景気が良くなる要素が一つもない。
		化学工業 (経営者)	・中国との外交不安により、特に自動車関係の中国での生産量が大幅に減少にし、その影響により景気悪化が予想される。
		一般機械器具製造業 (総務担当)	・受注量や販売量の動きが悪くなっている。
		その他製造業 [スポーツ用品] (総務担当)	・消費税増税及び社会保険料の引き上げ、電力料のアップ等費用だけは増加していくが、売上価格への転嫁は非常に難しい状況であり、中小企業にとっては引き続き苦しい状況が続く。
雇用 関連	良くなる	—	—
	やや良くなる	求人情報誌製作会社 (採用支援担当)	・米国の大手金融機関の破たん以降採用を抑えた反動が現在出ていると考えられ、当面この流れは維持される。
(中国)	変わらない	人材派遣会社 (社員)	・特に派遣法改正の影響もなく、上向き下向きとなる判断材料がない。
		人材派遣会社 (営業担当)	・当地域に関しては、自動車関連の事業所が多い為、現在の状況であれば2、3か月先の求人意欲回復はあまり期待できない。よって、求人全体で見ても横ばいで推移する。
		人材派遣会社 (支社長)	・小売の受注は堅調に推移すると思われるが、求職者確保に苦戦する。また製造業での受注減が顕著で大幅な回復は見込まれない。
		求人情報誌製作会社 (サイト運営担当)	・景気要因よりも厳選採用の要因が大きい。
		求人情報誌製作会社 (広告担当)	・2014年度の新卒向けの採用活動が12月より本格的にスタートするのにともなって、各社ともに採用予定人数を決定する時期であるが、ほぼ例年並みという回答の企業がほとんどといった状況である。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	・好転する材料が何もないというムードが強まっている。
		職業安定所 (雇用開発担当)	・最近の新規求人数の前月比でみるとひとけた台の増加で推移している。求人の内容も正社員は伸びが悪く、期間社員、パート社員等の求人の伸びが大きい。
		職業安定所 (産業雇用情報担当)	・今後も求人数の増加はあっても非正規求人によるものと考えられる。
		学校 [短期大学] (学生支援担当)	・変化する動向が見受けられない。
		その他雇用の動向を把握できる者 [労働機関] (職員)	・来春の新規学卒求人は、件数こそ前年を上回ったが募集人数が絞られており、全体では低水準で推移している。新たな企業誘致に関わって大量採用の話も複数あるが、来年・再来年以降のことであり、今現在の求人には結び付かないでいる。
	やや悪くなる	新聞社 [求人広告] (担当者)	・中国などの海外経済の減速や、エコカー補助金終了に伴う個人消費の息切れと日中関係の悪化が経済活動に及ぼす悪影響が長期化することが懸念される。
		職業安定所 (産業雇用情報担当)	・人員整理や事業所閉鎖での大量解雇が県内で数社あり、景気が良くなる材料はない。
		民間職業紹介機関 (職員)	・円高、外交、欧州経済、中国経済などの懸念材料のどれを見ても改善は見られず、特に輸出を強みとする当該エリアにおいては、貿易収支もこのところ赤字であり、明るい兆しが無い。
		民間職業紹介機関 (人材紹介担当)	・今後も中国との関係が大きく影響し、製造業の動きが下降気味になる。なお、企業が策を講じて成果が出るまではしばらく時間がかかる。

悪くなる

-

-